

EITAC(一般社団法人 弾性波診断技術協会)

平成 27 年度 EITAC 技術シンポジウムプログラム

「地中の見えないものを見る技術の現状と展望」

【CPD 及び CPDS 認定講習会】

- 主催: (一般社団法人 弾性波診断技術協会アカデミークラブ)
 ●協賛: (公社)地盤工学会、(一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所
 【一部未定】 (一社)日本非破壊検査工業会、(一社)全国建設業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会 関東支部
 (順不同): (公社)全国宅地擁壁技術協会、(一社)全国道路標識・標示業協会、日本テールアルメ協会、鋼製防護柵協会
 (一社)日本アンカー協会、フリーフレーム協会、(一社)PCM工法協会、千葉工大技術士会、蔵前技術士会
 (一社)SCFR工法協会、KTB 協会、(一社)全国地質調査業協会連合会、地盤品質判定士協議会
 基礎工/総合土木研究所

＜開催目的＞:

東日本大震災の復興・復旧が進むなか、国土強靱化三法の成立を受けての動きがスタートいたしました。なかでも公共事業投資額は、異例の高配分が決定し、強靱化国家を目指す社会資本整備の中に、新しいものの建設と並行し、既存施設の維持管理補修が重要視されてきました。目に見えない診断技術として弾性波診断技術の置かれている立場はさらに拡大されると期待されています。

今回は特に『地中の見えないものを見る技術の現状と展望』をテーマにしたシンポジウムを開催します。2011 年の名古屋市の歩行者信号機の倒壊、2012 年の中央道笹子トンネル天井板崩落事故をきっかけに、安全・安心を求める声が増幅しています。昨年は満席となりましたが、今年は既に多くの問い合わせがありますので昨年以上の混雑が予想されます。早めの参加申込み及びシンポジウムへご来場を御願います。

＜開催日時・場所＞:

平成 27 年 12 月 10 日(木) 13:00～17:25(受付及び、機器展示は 12 時 00 分～)

機械振興会館(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8)(地図参照)

＜プログラム＞:

(司会)アカデミークラブ 委員長 橋本 隆雄
 理事 弘中 美光

開会挨拶

第1部:特別講演 13:05～14:35

- 演題:地盤補強工法の最先端と検査技術

東京大学 名誉教授 龍岡 文夫

<休憩>

10分

第2部:最近の地中構造物非破壊検査技術の現状と課題 14:45～16:35

- 2-1 鋼製防護柵の現場測定技術・トラブル対応

日進工業株式会社 中光 眞史

- 2-2 非破壊検査による鋼管柱路面境界部腐食診断技術

株式会社ジオファイブ 薊 貴裕

- 2-3 コンクリート埋設材地際部の調査測定法の研究

有限会社NS検査 新美 久仁彦

- 2-4 付属物点検とデータベース化

宮川興業株式会社 石井 和夫

- 2-5 根腐れ防止補修・補強工法(SCFR 工法)

富国工業株式会社 岩瀬 正敏

- 2-6 現在の地中レーダについて

有限会社大地コンサルタント 加藤 義博

- 2-7 地中埋設物探査用電磁誘導型音源

千葉工業大学 陶 良

<休憩>

5分

第3部:EITAC の取組みとその技術の紹介 16:40～17:20

- 3-1 現場実験フィールドを活用した研究

職業能力開発総合大学校 橋本 光男
 昭和工業株式会社 上林 弘

- 3-2 非破壊検査技術の普及活動と会員の技術研鑽について

アカデミークラブ 副委員長 藤井 俊逸
 専務理事 矢野 隆弘

閉会挨拶

* 申込方法につきましては裏面をご確認ください。

* 講演内容は変更となる場合がございますのであらかじめご了承ください。

* **入場は無料ですが、別途資料代として1,000 円/冊希望者へ販売をいたします。**

注)問い合わせ先:一般社団法人 弾性波診断技術協会 事務局 担当 米
 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-25-11 三幸ビル2F
 TEL 03-6661-2131 Mail info@eitac.jp